

自己点検・自己評価 報告書

令和2年度

評価対象期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

学校法人 赤門学院
専門学校 赤門自動車整備大学校

令和2年度 自己評価表

1. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
学校理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	
学校における職業教育の特色は何か	3	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3	
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	

[1. 課題]

学校理念に基づいた指導は適切に行われていると判断できる。社会人として自動車業界で活躍できる人材育成を目標として取り組んでいるが、指導成果がでるまでに時間が掛かる学生もいる現実がある。また、指導側も更なるレベルアップを目指し取り組んでいく必要がある。近年外国人留学生の入学が増加しており、言葉の理解や日本人との文化の違いなどがあるため、学校の教育理念を十分に理解できていない場合も見受けられる。

[2. 今後の改善方策]

学校と学生が一丸となって学校理念に基づいた教育を統一して行っていくことが重要である。教職員の研修等を通じて意識向上や教育レベルの向上を継続的に行っていく。学生のコミュニケーション能力や協調性の向上を目指す教育カリキュラムの見直しを行い、人間性豊かな人材教育を目指す。外国人留学生については、留学生特有の事情を考慮した教育方針を別途定め取り組んでいき、日本で活躍できる人材育成を行っていく。

[3. 特記事項]

--

令和2年度 自己評価表

1. 評価項目の達成及び取組状況

(2) 学校運営

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
目的等に沿った運営方針が策定されているか		3
運営方針に沿った事業計画が策定されているか		3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか		3
人事、給与に関する規程等は整備されているか		3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか		3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか		3
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか		3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか		3

[1. 課題]

学校の知名度が低いと思われる。また、情報システム化等による業務の効率化は必要不可欠であり、働き方改革にもつながる。

[2. 今後の改善方策]

マスメディアの活用が必要

[3. 特記事項]

令和2年度 自己評価表

1. 評価項目の達成及び取組状況

(3) 教育活動

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4⇒3	
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4⇒3	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	
授業評価の実施・評価体制はあるか	3	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2⇒3	
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントがおこなわれているか	2⇒3	
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	

[1. 課題]

業界の最新動向等を把握することが必要であり、教育指導に反映できるようにする。

[2. 今後の改善方策]

現場の視察などを研修に取り入れる。役割分担を明確にして、教員一人一人の負担の削減を図る。積極的に人材を採用する。

[3. 特記事項]

--

令和2年度 自己評価表

1. 評価項目の達成及び取組状況

(4) 学習成果

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
就職率の向上が図られているか	4	
資格取得率の向上が図られているか	3	
退学率の低減が図られているか	3	
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	

[1. 課題]

就職に関しては入学後担任と就職課により就職指導を行い、意識向上を行っている。就職に向けてのサポートも充実しており、進路指導時間においても面接練習、一般常識問題実施を行い就職率は高い。資格取得率に関しては、資格試験に向けた特別対策授業を行い、合格率の向上を目指している。国家試験においては、合格率100%を目指した指導方法を実施している。退学率は、各担任、校長、保護者との連携、面談を実施。やむを得ず金銭的な事情等で進路変更をする学生も一部いるが、日頃から学生とのコミュニケーションを図るなど退学率の低減が図られている。

[2. 今後の改善方策]

就職に関しては面接の不得意な学生も年々目立ってきており、早い段階からの面接練習を実施するなど更なる入社試験対策の強化、留学生の就職先の確保及び維持を行っていく。資格取得率に関しては、資格取得に向けた特別授業、教員が資格取得対策に専念できる環境を構築していく必要もある。卒業後の把握については広報、就職課、担任による活躍調査を強化する必要がある。

[3. 特記事項]

--

令和2年度 自己評価表

1. 評価項目の達成及び取組状況

(5) 学生支援

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	
学生相談に関する体制は整備されているか	3	
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	
学生の生活環境への支援は行われているか	3	
保護者と適切に連携しているか	3	
卒業生への支援体制はあるか	3	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2⇒3	

[1. 課題]

希望会社へ入社するための就職試験訓練を強化・相談したくても職員室へ入室することに抵抗を持っていると思われ、担任経由で相談するケースが多いと思われる。

[2. 今後の改善方策]

(学生寮の環境) 夏の気温上昇が多くなっているが、エアコンの設置がなく、夏暑く、冬は寒く、寝れない学生も多く見受けられる。
→エアコンの取付は可能だが、そうすると寮費を値上げしなければならなくなるため寮費の負担(特に留学生)を軽減するために取り付けていない。そのため、入学前に入寮する方には必ず説明している。

[3. 特記事項]

--

令和2年度 自己評価表

1. 評価項目の達成及び取組状況

(6) 教育環境

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2	
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	
防災に対する体制は整備されているか	3	

[1. 課題]

校舎により設備や教材の老朽化が進み、教材の必要数はあるが、現代の自動車に対応してない教材も多い。インターンシップについては、ビークルクラブ48にて職場体験の実施や就職活動に合わせた販売店が実施する仕事体験にも積極的に参加を行っている。

[2. 今後の改善方策]

令和2年度には、販売店から実習車両やエンジン、トランスミッション等の寄贈により、最新の車両や単体教材も増え、マニュアルを作成し実習にて使用を増やしています。インターンシップについては、昨今のコロナ過により、リモートでの会社説明会への変更等で参加が難しくなっています。

[3. 特記事項]

防災については、避難訓練の実施や消火器の使用方法について学生に説明を行っています。また、実習場の整理整頓を行い避難通路の確保を行っています。防災マニュアルは学生便覧に記載されており、教職員に周知徹底されている。

令和2年度 自己評価表

1. 評価項目の達成及び取組状況

(7) 学生の受入れ募集

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
学生募集活動は、適正に行われているか		3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか		3
学納金は妥当なものとなっているか		3

[1. 課題]

一番の課題は日本人学生の入学者を増やすという事。そのためには、高校生の進路へ対しての意識も年々早まっているためそこへの対応をどうするのか、赤門自動車整備大学校の知名度の向上、学校見学会参加者を増やすという事が課題としてあげられる。また、コロナ禍の終息が見えない状況であるので、コロナ禍における募集活動をどうするか。留学生に関しても継続して入学者数を確保を行わなければならない。

[2. 今後の改善方策]

日本人学生に関してはテレビCMを放送し、知名度向上を図る。さらに高校1・2年生のガイダンスにも積極的に参加し、早い段階で意識を植え付け、そこから学校見学会の参加者を増やす。
さらに、オンラインでの説明会も強化し、中高生とのコンタクトも増やしていく。
留学生に関しては生活指導や就職・国家資格取得へ向けた指導を徹底的に行い、学校の評判を落とさないこと。また、整備士就職率100%を継続する事が一番の募集へと繋がる。

[3. 特記事項]

学校教育の質の向上、充実を図り、それを宣伝できるようにすること。夢を持って入学してくる人々の期待を裏切らない学校であらねばならない。

令和2年度 自己評価表

1. 評価項目の達成及び取組状況

(8) 財務

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか		3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		3⇒4
財務について会計監査が適正に行われているか		3⇒4
財務情報公開の体制整備はできているか		3⇒4

[1. 課題]

全教職員が、「財務基盤の安定には、入学生の増加が不可欠」、という意識を常に共有している。そしてその結果、入学生も確実に増加してきている。ただ、予算や特に監査となると、どうしても理事会頼みにならざるを得ない。さらに専門職大学の設置が関わってきているので公開されている資料からでは評価の判断が難しく「理事会等を信頼しています」というのが現実であり、それを指摘する回答が多い。

[2. 今後の改善方策]

ホームページ上の情報公開のほかに、計算書類及び役員等の名簿などの閲覧が希望をすれば誰でも可能である。そういった情報を事務方から常に発信し、特に理事会等に関しては、もっと全教職員に対して開かれたものにしていく。

[3. 特記事項]

専門職大学の開学準備がスタートした。当然多額の自己資金が投入される。したがって、今後の中長期的な財政基盤に注目していきたい。

令和2年度 自己評価表

1. 評価項目の達成及び取組状況

(9) 法令等の遵守

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3⇒4	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	
自己評価結果を公開しているか	3	

[1. 課題]

個人情報取り扱いのルール設置。パソコンのウイルス対策とOSのアップデートが不十分で、ウイルス感染のリスクが大きい。自己評価の定期実施と公開を行っているが、一部問題点が改善されない部分もある。

[2. 今後の改善方策]

ウイルス対策ソフトの管理。個人情報の管理方法について定期的に話し合う必要がある。自己評価において出てきた問題点を積極的に改善する仕組み作り。

[3. 特記事項]

--

令和2年度 自己評価表

1. 評価項目の達成及び取組状況

(10) 社会貢献・地域貢献

項目名	適切・・・4	ほぼ適切・・・3
	やや不適切・・・2	不適切・・・1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか		3
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか		2
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか		3

[1. 課題]

定期的に学校周辺の清掃等を行っている

[2. 今後の改善方策]

社会貢献，地域貢献を踏まえた学校の活用方法を検討する。

[3. 特記事項]

学校による社会貢献や地域貢献が、学校の宣伝や学生募集に繋がると思われる。